

- 最終コントロールからは、赤白色テープ誘導に従ってフィニッシュレーンに入る。
- フィニッシュはパンチングフィニッシュとする。
- パンチングフィニッシュした後、役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時(13:00)までは地図を回収する。競技中に地図を紛失した場合は失格とする。
- e-cardは役員の指示に従って提出すること。e-cardを提出できない場合には失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14:30である。

8. 競技情報

8.1 地図

- 地図はミドル・リレー共に縮尺1:10,000、等高線間隔5m、走行可能度4段階表示で描かれている。地図表記はJSOM2007に準拠している。
- 上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物がある。この規定に従って以下のように記号を定める。
 - 黒の○：炭焼窯跡
 - 黒の×：小さな神社・小さな構造物・その他人工特徴物
 - 黒の◎：石碑
 - 黒の□：下部を通り抜け可能な構造物
- 表記に関してはモデルイベント地図の凡例を参照のこと。ミドル・リレーに使用する地図は上記の特殊記号を除き、凡例を省略している。
- 本大会の競技で使用する地図は全てビニール袋に封入されている。

8.2 テレインの概要

本テレインは奈良県北東部、大和高原の南端に位置する標高500~700mの地域であり、1988年度および1996年度インカレリレーにて使用された範囲に含まれる地域である。地勢は起伏に富み、関西の多くのテレインで典型的に見られるような急峻な斜面を随所に有し、概して大きな尾根や沢を備えた山塊からなるが、微地形が発達している部分も散見される。植生に関しては針葉樹、広葉樹ともに見られるが、整備された林は少なく、特に生長した笹によって走行可能度や見通しが著しく低下しているエリアが分布している。また、テレイン内には周辺の耕作地から伸びる簡易舗装や非舗装の道路および小道も発達している。

8.3 テレインに関する情報

- テレインには急峻な箇所が多く存在するため、靴はスパイク付きのものを推奨する
- 笹の中に倒木などが存在する箇所があるため、レガースの使用を推奨する。
- 残雪・凍結の可能性がある。各自で対策を立てること。
- 猪等の野生動物が出没することがある。注意すること。

8.4 コースに関する情報

8.4.1 コース設定者

- 木村 洋介 (2001年 大阪大学入学)
ミドル・ディスタンス競技 選手権 A-Final および リレー競技
- 樽見 典明 (2002年 名古屋大学入学)
ミドル・ディスタンス競技 選手権予選・一般・B-Final

8.4.2 コース距離・登距離

- コース距離（単位：km）・登距離（単位：m）は以下の表のとおりである。ただし、変更される場合がある。その場合は、公式掲示板にて掲示する。

<ミドル・ディスタンス競技部門>

コース	距離	登距離
MEQA	1.8	145
MEQB	1.9	150
MEQC	1.9	155
MEQD	1.9	150
WEQA	1.3	100
WEQB	1.3	90

コース	距離	登距離
MEFA	2.6	225
WEFA	2.1	185
MEFB1	2.1	140
MEFB2	2.2	140
MEFB3	2.1	150
MEFB4	2.2	150
WEFB1	1.6	90
WEFB2	1.6	90

コース	距離	登距離
MUA1	2.5	190
MUA2	2.6	205
WUA	2.1	135
MUB	1.1	50

コース	距離	登距離
WUB	1.1	50
MUF1	1.4	120
MUF2	1.4	120
WUF	1.3	75

<リレー競技部門>

コース	距離	登距離
ME	4.3-4.4	395-410
WE	2.6-2.7	245-255
MUR	2.9-3.0	220-235
WUR	2.3-2.5	200-220
XUR	2.3-2.5	200-220
MUS	2.9-3.0	220-235
WUS	2.3-2.5	200-220

8.5 e-card 使用に関する注意

8.5.1 間違っただパンチをした場合の対処法

- 同じ番号のコントロールで続けて 2 回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録される。パンチに不安がある場合は 2 回以上パンチしても問題は無い。
- 途中で間違っただコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認める。従って、間違っただコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行ってパンチすればよい。

8.5.2 その他注意事項

- e-card の加工、書き込み等は認めない。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用してもよい。
- スタートユニットにはめ込むと以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないこと。
- 競技運営の都合上、主管者から貸し出す e-card 以外の使用は認めない。ただし、モデルイベント中のみ個人所有の e-card 使用を認める。
- 主管者が貸し出す e-card には氏名等を記入したラベルが貼り付けられており、選手 1 人につき 1 枚ずつ貸し出される。ミドル・リレー両日とも同一の e-card を使用する。
- e-card を紛失若しくは破損した場合、弁償金（3,000 円）を徴収する。ただし、競技中の事故で破損した場合にはその限りではない。

8.6 ナンバーカード

- ナンバーカードは開会式当日の受付で配布する。選手権 A-Final のナンバーカードは選手権予選終了後、受付にて選手権 A-Final 出場者に配布する。
- 選手権 A-Final とリレー選手権の部では選手 1 人に付き 2 枚使用するので、胸と背中それぞれ見やすい位置に水平に付けること。それ以外のクラスでは選手 1 人に付き 1 枚を、胸の見やすい位置に水平に付けること。
- ナンバーカードは 1 枚につき安全ピンを 4 個使用すること。
- 安全ピンは各自で用意すること。ただし、選手権 A-Final についてはこの限りではない。

8.7 公式掲示板

- 開会式会場およびグラウンド内に公式掲示板を設置する。
- 変更点、連絡等参加者に伝えるべき公式な情報は全てこの掲示板を通して知らせる。必ず確認すること。

8.8 救護所・給水所

- ミドル・リレー共に、フィニッシュ地区に救護所を設ける。
- リレーではそれ以外にテレーン内に救護所を設け、最低限の応急手当と給水を受けることができる。各自で手当をした場合は、支障がなければ競技を続けることができる。役員の手を借りた場合には失格とする。
- 競技中に怪我人を発見した場合は、最寄りの役員、あるいは大会本部に連絡すること。なお、怪我人の救護は競技よりも優先する。

8.9 調査依頼・提訴

8.9.1 調査依頼

- 各大学は、競技者あるいは主管者の、ミドル・リレー共に選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。
- ミドル・リレー共に、受付にて調査依頼を受け付ける。受付にて用意する所定の文書で提出すること。
- 成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後 60 分以内に行うこと。
- 調査依頼には主管者が回答し、公式掲示板に掲示する。

8.9.2 提訴

- 調査依頼に対する回答に疑義がある場合は提訴を行うことができる。提訴は裁定委員会に

対して文書で行うこと。

- 提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものである。関係者に通知されるほか、大会報告書にて報告される。

8.10 テープ誘導色一覧

ミドル		リレー	
選手権予選 一般の部・B-Final	A-Final	選手権	一般の部・スプリント
競技会場	スタート待機エリア	スタート	スタート
↓青白色	↓紫白色	↓赤白色	↓赤白色
スタート	プレスタート	地図置き場	地図置き場
↓赤白色	↓赤白色	↓赤白色	↓赤白色
スタートフラッグ	本スタート	スタートフラッグ	スタートフラッグ
↓	↓	↓	↓
最終コントロール	最終コントロール	スペクテーターズ	スペクテーターズ
↓赤白色	↓赤白色	レーン開始	レーン開始
フィニッシュ	フィニッシュ	↓赤白色	↓赤白色
↓紫白色		スペクテーターズ	スペクテーターズ
競技会場		レーン終了	レーン終了
		↓	↓
		最終コントロール	最終コントロール
		↓赤白色	↓赤白色
		フィニッシュ	フィニッシュ

※立入禁止：青黄色

※会場バストップ～競技会場：紫白色